

Ⅲ 基本方針

1. すべての子どもをすべての教職員で見守り育てる。

- (1) 人権・同和教育と特別支援教育の視点を持ち、一人一人の成長を保障する。
- (2) 様々な活動や場を通して、互いが認め支え合える集団をつくる。

2. 就学や将来に向けた「生きる力」の基礎を育む。

- (1) 「できた」「わかった」という達成感を引き出し、自尊感情を高める。
- (2) 人に触れ自然に触れ、体験・作業などを通して感性を磨く。
- (3) 年少児から就学に向けた資質と能力を育てる教育課程の実施をする。

3. 地域と連携し、「ふるさと大社」を愛する心情を育てる。

- (1) 伝統行事や地域行事の体験を推進する。
- (2) 地域での自然体験やふれあい体験を推進する。
- (3) 保幼小や各種団体との連携を推進する。

Ⅳ 本年度の重点

1. 子どもがいきいきと活動できる環境づくり

- (1) 子どもの思いや背景を受け止め、のびのびと活動できる環境をつくる。
- (2) 危機に適切に対応できる体制をつくる。 ※迅速・誠意・組織

2. 基本的な生活習慣づくりと体力づくり

- (1) 運動習慣や基礎体力・体幹の向上をめざした遊びや活動を推進する。
- (2) 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」「メディアバランス」を推進する。

3. 保護者や地域や各団体と連携した開かれた園づくり

- (1) 積極的に交流と情報発信を行い共に子どもを育てる（共育）体制をつくる。
- (2) 町内の保幼小と連携して交流を進め、縦と横の連携を充実させる。
→「幼保小の架け橋プログラム」の理解・推進

4. 教職員の資質の向上

- (1) “ひと”として“社会人”としても自己を高め、豊かな教育の実践者をめざす。
 - ▷ “ひと”として…「ライフワークバランス」
 - ▷ “社会人”として…「報告・連絡・相談」
- (2) 全教職員で意欲的に多様な研修を進め、指導者としての幅を広げ・深める。

5. 研究活動の充実

- (1) 子ども実態を把握し、「3つの柱」を中心とした成長を促す研究活動を進める。
- (2) 大社幼稚園の「強み」や「よさ」を生かした研究内容と方法をめざす。